

5ZA-03

インフォグラフィックスを用いた国情報把握支援システムの提案

島崎 梨香[†] 植竹 朋文[†]

専修大学 経営学部[†]

<研究動機>

海外旅行に行く前に、その国についての基本情報（人口、面積、人種、治安等）を十分に調べて行くことはそれほど多くない。そのため、その国についての知識が不足し、旅行を十分に楽しめないことが多い。せっかくだからこそその国の情報をもっと手軽に知ることができればいいと思ったのが、研究動機である。

<研究目的>

海外旅行に行く人を対象に、容易に旅行先の国についての情報を把握できるように支援するシステムを提案することを目的とする。

<現状分析>

海外旅行に行く人が渡航前に、行く国についての基本情報をどの程度調べているかを明らかにするためにアンケート調査を行った。また、各国の基本情報を提供しているメディアについても調査を行った。

▼利用者の意識の分析

基本情報を以下の4つに分類し、渡航前に各項目について、どの程度調べているか調査した。

表1. アンケート調査 (5段階評価)

項目	評価
行く国の基本的概要	1.9
過ごしやすさ	4.1
治安	3.5
物価	3.8

対象:海外旅行経験者 25名

また、上記にあげた基本情報を「調べない」理由について調査したところ、その情報の価値を認識していなかったり、文字ベースで調べるのが手間であるということも明らかになった。

▼情報提供媒体の分析

次に既存の情報提供媒体（「るるぶ」と「地球の歩き方」のサイトと書籍）の分析を、情報の価値とかかる手間に注目して行った。

表2. 既存の情報提供媒体

	情報の価値	手間
サイト	情報に意味づけが不十分	文字ベースで比較が困難
書籍	情報に意味づけが不十分	情報が散在している

▼現状分析のまとめ

現状分析の結果、以下の点が明らかになった。

- ・ 情報の価値の明確化と利用者の手間の軽減が重要
- ・ 既存媒体では、個々の情報は提供されているものの、その価値の理解を促す仕組みと得られた情報の比較や把握を支援する機能が不十分

<システム提案>

現状分析を踏まえ、以下の機能を持つ国情報把握支援システムを提案する。

- 価値の明確化機能
→国の基本的な情報をユーザの居住国や地域と比較することで、情報の価値を明確化する。
- 情報の可視化機能
→インフォグラフィックス（情報をわかりやすく、人に伝わるかたちに視覚化する手法）を用いた可視化ルールに基づいたテンプレートを作成することで、ユーザが欲しい情報と実際の情報を対応させ、それをわかりやすく可視化して提供することで、情報の把握を容易化する。

なお可視化にあたっては、無料で利用可能なインフォグラフィック作成ツールである easel.ly (<http://www.easel.ly/>) を利用した。

Proposal of the Information grasp support system for overseas traveler using Infographics

[†]Rika Shimazaki, Tomofumi Uetake · School of Business Administration, Senshu University

作成した可視化ルールを以下に示す。

【可視化ルール】

- ・ 情報（人） → 擬人化
- ・ 情報（もの） → イメージ
- ・ 情報（数値） → グラフ化+イメージ

実際に可視化した情報の例を以下に示す（図 1、図 2）。

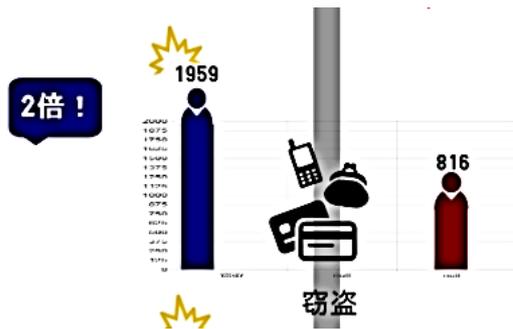


図 1. 可視化した情報の例（治安）

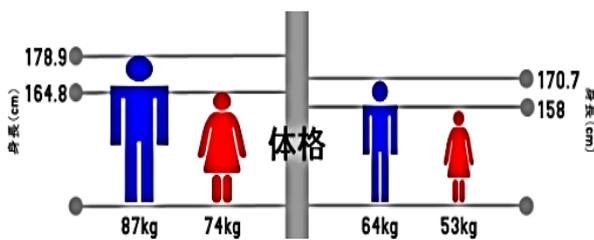


図 2. 可視化した情報の例（人種）

＜効果検証＞

システムの有効性を検証するために、海外旅行経験者 19 名を対象に、実際に情報を可視化したものを利用してもらい、その評価をしてもらった。評価項目は以下の表 3 に示すとおりである。

表 3. 効果検証（5 段階評価）

項目	得点
行く国の基本的概要	4.4
過ごしやすさ	4.3
治安	4.6
物価	4.4
本システムの有効性	4.6

この結果（表 3）から、海外旅行をする際に必要となる個々の情報を身近な情報と比較し、可視化して提供する本システムの有効性が確認されたと考えられる。

ただ、可視化による理解度は人によって異なっているため、「過ごしやすさ」等といった項目の情報については、十分な効果が得られなかったケースも存在したので、今後も可視化ルールについてはさらなる改良が必要であることも明らかになった。

＜結論＞

インフォグラフィックスを利用した本システムを利用することで、ユーザにそれほど手間をかけることなく、海外旅行をする際に必要となる情報が可視化され、理解しやすいように自国の情報を比較して提供されるので、ユーザが容易に旅行先の国についての情報を把握でき、より旅行を楽しんでもらうことが可能になると考えられる。

＜今後の課題＞

今後の課題としては以下のものがあげられる。

- ・ 可視化ルールの改良
- ・ 図示だけでなく正確な情報の併記の検討
- ・ 可視化が難しい情報への対応

＜参考文献及び参考 URL＞

1. るるぶ.com-観光・旅行情報・宿泊予約
<http://www.rurubu.com/>
2. 海外旅行・観光の最新情報 地球の歩き方
<http://www.arukikata.co.jp/>
3. 各国・地域情勢 | 外務省 - Ministry of Foreign Affairs of Japan
<http://bazubu.com/infographictools-6427.html>
4. 世界の気温 - 旅行のとも、ZenTech-
http://www2m.biglobe.ne.jp/~ZenTech/p14_temperature.htm
5. 世界各国の平均身長
http://www.suku-noppo.jp/data/world_average_height_boy.html
6. アメリカ合衆国の犯罪と治安 - Wikipedia
<http://ja.wikipedia.org/wiki/アメリカ合衆国の犯罪と治安>
7. 世界各国の物価水準 - 国際金融情報センター
<http://www.jcif.or.jp/View.php?action=PublicWorldReport&R=41>
8. 櫻田潤 (2013), 『たのしいインフォグラフィック入門』, 株式会社ビー・エヌ・エヌ新社